

電磁界情報センターのご紹介

電磁界情報センターは、経済産業省の「電力設備電磁界対策ワーキンググループ」の政策提言を受けて設立された組織です。

当センターの理念・目的は、「中立的な立場から、電磁界に関する科学的な情報をわかりやすく提供するとともに、リスクコミュニケーションの実践を通じて、電磁界の健康影響に関する利害関係上のリスク認知のギャップを縮小する」として活動を行っております。

具体的には、電話・メールによる問合せ対応のほか、依頼講演会、ホームページ、YouTube等による情報発信、低周波磁界測定器の貸出に取り組んでおります。こうした中、2024年度の電磁波に関する問い合わせ件数は過去最高を記録し、市民の間で電磁波の健康影響に対する関心が再び高まりつつあるほか、我々の情報発信やリスクコミュニケーションの取組みが着実に成果を上げているものと受け止めています。

さらに、センター業務の中立性・透明性を確保するために、広く見識を有する学識者、消費者代表、マスメディア関係者で構成される運営委員会を設置しており、定期的に運営状況をチェックし承認していただいております。



電磁界情報センターのメンバー

◇最近のトピック

磁界測定プロジェクトとして、自動車(EV,PHEV,ICEV)からの磁界・スマートメータから発生する電磁波の測定を行い、国内外の学会にて発表しております。また、設立から16年が経過し、これまでのリスクコミュニケーションの実績をもとに、国際協力にも積極的に取り組んでおります。



ポーランド学会、ドイツ政府組織と国際的協力体制に関するMOUを延長し締結（2025年6月）